

# 探していただきます!

# 幻のかまど「三岡へっつい」

「五箇条の御誓文」の起草者で幕末期の福井藩の財政再建と明治新政府下での国づくりに貢献した福井藩士「由利公正（旧名三岡八郎）」。

司馬遼太郎著『竜馬がゆく』や大島昌宏著『炎の如く』、尾崎護著『経綸のとき』には、公正が発明したというかまど「三岡へっつい」が登場します。

福井市内を中心に普及していたという、この「三岡へっつい」をご存じの方は情報提供をお願いします。

## 「三岡へっつい」とは

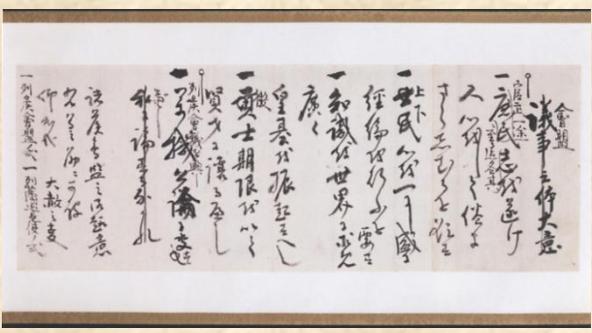
由利公正が発明したとされる「かまど」

- 一 釣鐘<sup>つりがね</sup>を逆にしたような鉄釜<sup>てつがま</sup>に横穴<sup>うが</sup>を穿ち下半分を部厚い土で固めたもの
- 一 火力が強く薪が従来の十分の一で済む
- 一 一八六五年〜一九三五年頃に福井県下で普及していたとされる

問い合わせ・連絡先

福井県ブランド営業課

0776-200762



五箇条の御誓文草案  
(議事之体大意)



かまどイメージ

(※三岡へっついではありません。)